

# 褥瘡発生率

## 《指標の説明・定義》

褥瘡は、疼痛などにより患者の QOL（生活の質）の低下をきたすとともに感染を引き起こすなど治療が長期に及ぶことによって、結果的に在院日数の長期化や医療費の増大につながります。

## 《計算式》

分子：調査期間における分母対象患者のうち、d2以上の褥瘡の新規院内発生患者数

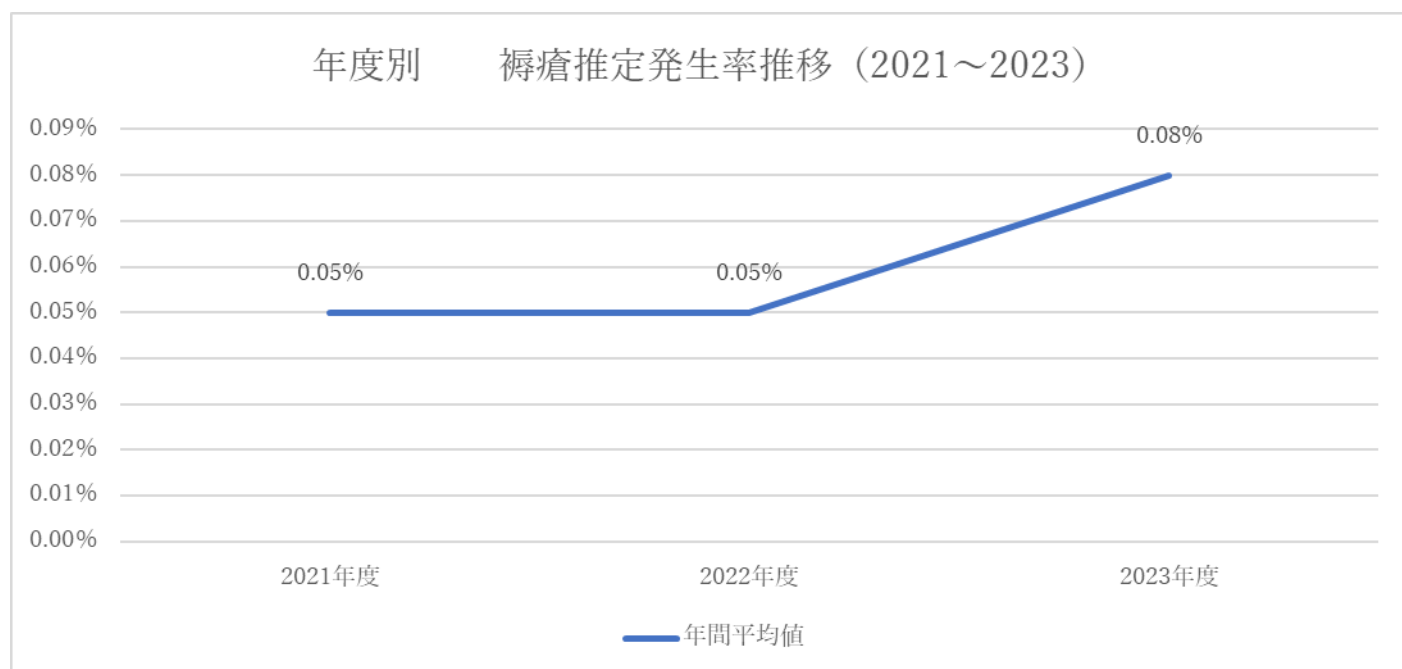
分母：入院延べ患者数

褥瘡評価用 深さ (Depth) の分類	
d0	皮膚損傷・発赤なし
d1	持続する発赤
d2	真皮までの損傷
D3	皮下組織までの損傷
D4	皮下組織を超える損傷
D5	関節腔・体腔に至る損傷
DU	深さ判定が不能の場合

## 《褥瘡発生率》

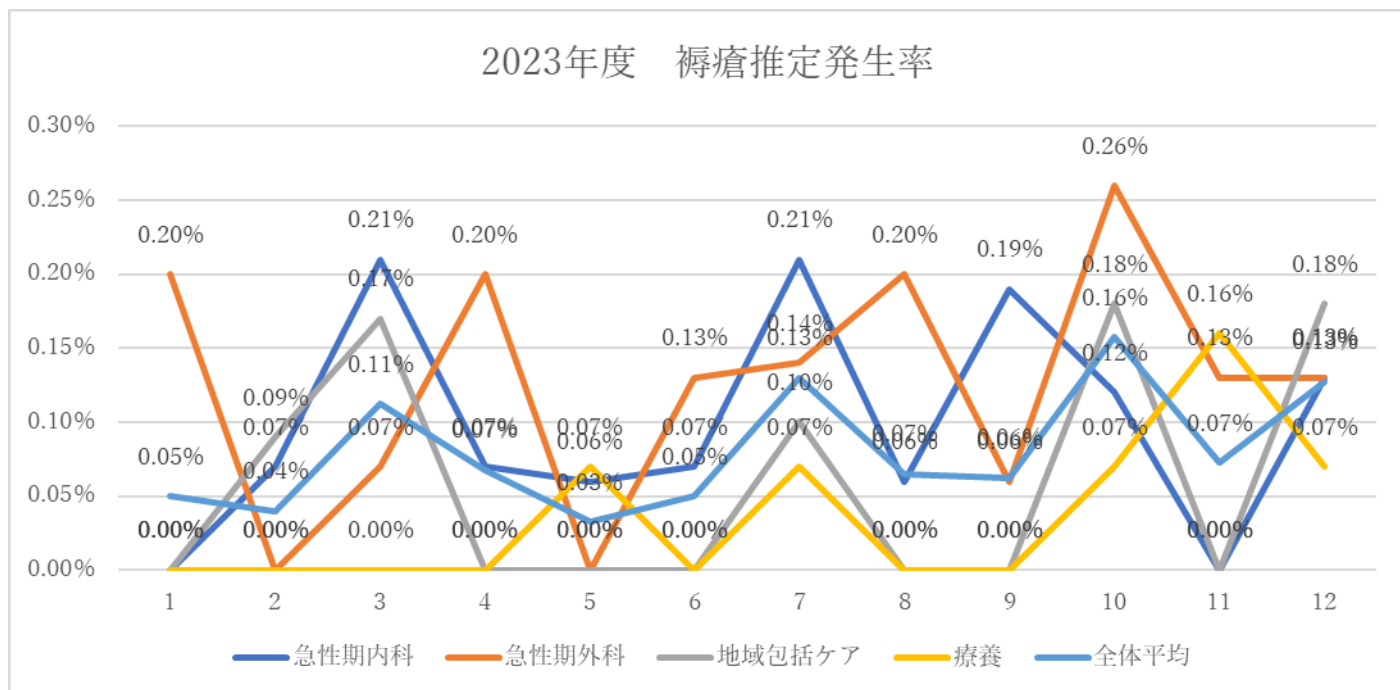
### 年度別 褥瘡推定発生率推移

	2021年度	2022年度	2023年度
年間平均値	0.05%	0.05%	0.08%



2023年度 病棟別褥瘡推定発生率（月褥瘡推定発生者数/のべ入院患者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2023年度平均
急性期内科	0.00%	0.07%	0.21%	0.07%	0.06%	0.07%	0.21%	0.06%	0.19%	0.12%	0.00%	0.13%	0.10%
急性期外科	0.20%	0.00%	0.07%	0.20%	0.00%	0.13%	0.14%	0.20%	0.06%	0.26%	0.13%	0.13%	0.13%
地域包括ケア	0.00%	0.09%	0.17%	0.00%	0.00%	0.00%	0.10%	0.00%	0.00%	0.18%	0.00%	0.18%	0.06%
療養	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.07%	0.00%	0.07%	0.00%	0.00%	0.07%	0.16%	0.07%	0.04%



2023年度の褥瘡推定発生率は0.08%でした。当院では予防対策に活かすため褥瘡の新規発生時には各病棟のチームスタッフでカンファレンスを開催し、なぜ褥瘡が発生したのかをアセスメントし対策を立てる活動を行っています。考察する力を付けることで、皮膚の脆弱や病状により発生リスクが高い患者さんをスタッフひとりひとりが意識しケアを行なうことで早期治癒や新規発生予防、発生初期に気付くことが出来るよう努めています。

現在超高齢社会であり、静岡県の高齢化率は30.7%と全国平均よりも高く、過去最高を更新しています。三島市の高齢化率も30.3%であり、近隣の市町村の沼津市、函南町の高齢化率はさらに高いです。そのような状況に伴い、入院患者さんも高齢化しています。入院時から褥瘡の持ち込みがある患者さん、日常生活自立度の低い患者さん、加齢に伴う皮膚の脆弱な患者さんなど褥瘡発生リスクの高い方が増えています。そのため当院では、褥瘡の新規発生、早期治癒を目標に週1回多職種からなる褥瘡対策チームでの褥瘡回診や年2回の院内研修を開催しています。褥瘡発生は患者さんや御家族に肉体的にも精神的にも苦痛をもたらします。褥瘡発生予防のため基本的な予防的ケアに加え、より質の高いケアが提供出来るよう努めていき今後も発生率低下に向けて対策を続けていきます。